

第七十四回一宮市芸術祭参加

第65回 一宮支部展

支部次長 村 田 光 柊

▼会期 令和元年十一月二十三日(土)～二十四日(日)

▼会場 一宮スポーツ文化センター

令和の幕開けとなった本年度の一宮支部展は、第六五回記念として「先賢遺墨展」併設の上、開催されました。平成十七年以降に逝去されました十名の先生方の素晴らしい作品に再び巡り合うことができた喜びに加え、御生前の支部への多大なる御貢献、御厚恩に対する拝謝は計り知れないものです。この貴重な特別展示に御協力頂きました関係者の皆様には、改めまして心より御礼申し上げます。

恒例の支部展も、本部から、理事長の伊藤仙游先生、副理事長の岡野楠亭先生、同加藤裕先生、同松下英風先生、事務局長の横井宏軒先生、企画委員長の大池青岑先生の賛助出品を賜り、支部先生方からは一七七名。フューチャーズにおきましても、団体個人共に多数の御出品を頂き、各先生方の変わらぬ御尽力御協力に心より感謝申し上げます。



ます。

さて昨年度より会期中に行なわれておりますギャラリートーク。本年度は武山翠屋先生がお話をして下さいました。書を継続させるには、目標を持ち仲間を持って、色々な出会いの中から得るもの感じ取るものを活かす。興味そそられる導入から、先生御自身の人生感を変えた良寛、師橋本翠川先生との出会い。そして、そこから得た書制作の極意への展開。この書面では言い尽くせない程の有意義な三十分間でした。

末筆抜粋誠に失礼乍ら、武山先生が声を大にして繰り返してお話しされた先賢佐野桃子先生から頂いたお言葉を添えさせて頂きます。「一つのことを追求する喜びを味わった人は、一生退屈しない」。

次年六十六回におきましても、先生方の多数の御出品、並びに御尽力御協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。